



# 令和6年度 学校経営全体構想

R6.4.1 版

## ●市FROM—0歳プラン2

### 【めざす姿】

自己にきびしく 人にやさしい  
心身ともにたくましい子ども  
[知]学ぶ喜び 学び合う楽しさ  
[徳]自己有用感  
[体]自ら創る健康



### 【方針】

誰もが「学校が楽しい！」  
と言える学校づくりの推進

## ●学校の教育目標

### 心豊かに 自ら学ぶ たくましい子の育成

思いやりのある子 (情)  
自ら学ぶ子 (知)  
たくましい子 (体)  
やりぬく子 (意)

## ●児童の実態

- 分かりやすい授業のもと、授業がよく分かると感じている
- 素直な姿勢で物事に取り組み、仲間と仲良く過ごしている
- 自分の頑張りを仲間や先生から認められていると感じている
- ▲自分のよさを感じながらも、自己肯定感の高まりにつながらない
- ▲自分の考えを言葉で表現することに弱さがある



## ●願う学校像

### 自信と笑顔を育む学校

重点：あいさつ・集中掃除・集中はみがき・しずかに集合

## ●めざす児童の姿と重点・指標

### 思いやりのある子

- 1 共によりよく生きようとする人権意識の向上
  - ・仲間のよさを認め合い、自己有用感を高めて、学級に居場所をつることができる学級経営
  - ・国籍、多文化等のお互いの違いを認識し、尊重し合うことができる関係性、人権感覚を醸成する
- 2 自発的・自治的な教育活動の推進
  - ・異年齢集団の関りを意図的に設け、温かい人間関係をつくる
  - ・生活上の課題に対して組織的な活動を通して解決しようとする
- 3 心の教育の推進
  - ・教科横断的な道徳教育を推進し、自己を見つめ、相手を尊重する心を育む
  - ・地域人材と関わる中で、互いに支え合い学び合う世代を超えた交流事業の促進

- ▶友達のよさをみつける A:75%
- ▶学校へ行くのが楽しい A:60%
- ▶自分にはよい所がある A:55%
- ▶地域や家庭であいさつ A:65%

### 自ら学ぶ子

- 1 意欲を高める個・集団への指導
  - ・基礎基本の徹底。
  - ・学ぶ必然性のある導入の工夫、きめ細やかな支援のある展開、学習内容を図る終末
- 2 豊かな表現力と課題解決を図る学習活動の推進
  - ・聞く力、話す力を身に付ける指導
  - ・話し合う力を高めるための工夫
  - ・仲間と関わり合って学び、自分の思いや考えを深めるための単位時間の指導の工夫
  - ・本時の学びを自分の言葉でまとめ、表現する終末の工夫
- 3 本物に触れる体験的な学びの推進
  - ・本物に触れる活動を通して興味関心を高め、進んで探求しようとする心を育む
  - ・学んだことを活動に生かすことのできる場の設定

- ▶授業がよく分かる A:60%
- ▶分かりやすい授業 A:80%
- ▶人前で自分の考えを話す A:50%
- ▶情来の夢・憧れの職業 A:75%

### たくましくやりぬく子

- 1 生命を尊び、自ら守る行動力の育成
  - ・命を守る訓練で、災害等の危険性を理解し、自分を守るための行動を考える実践する
  - ・教育相談体制を充実させ、自分の思いを表出し、問題を解決しようとする
- 2 環境を自ら整える力の育成
  - ・掃除を通して、身の回りの環境を美しく整える力を育む
  - ・活動に適した持ち物や学用品を考え、学習環境を整える
- 3 健康、体力の向上に努める力の育成
  - ・歯みがきを通して、自分の健康を自分で守る意識を育む
  - ・発達段階に応じた運動へ意欲的に取り組み、体力の向上に努める
  - ・下級生が憧れをもつ、上級生の姿を生み出す(重点四項目)

- ▶困ったとき相談できる A:65%
- ▶集中掃除ができる A:70%
- ▶朝晩の歯みがき A:85%
- ▶進んで物事に取り組む A:60%

## ●指導の基盤

### ～めざす教師像～

- 授業改善に取り組む教師
- \*児童の実態把握、一手間一工夫をして成果を見届け
- \*効果的なICTの活用
- 安心感、自己有用感を感じる学級づくりをめざす教師
- \*ルールとリレーションに基づいた安心できる学級経営
- \*児童のよさを多面的に評価・価値付ける
- 子供、家庭、地域から信頼される教師
- \*人権感覚のある言動
- \*迅速で誠意ある対応
- 働き方改革に取り組む教師
- \*仕事に軽重をつけたセルフマネジメント

### ～保護者との連携(共育)～

- ◇挨拶、返事、整理整頓など基本的な生活習慣、家庭での学習習慣づくり
- ◇地域の環境美化、安全確保に努める
- ◇情報機器端末の適切な活用に努める
- ～地域との連携(協育)～
- ◇学校運営協議会を通じた地域人材の活用、教育環境、教育支援の構築
- ◇地域の自然、文化、歴史など環境資源の活用
- ◇幼保小中、小中連携の充実
- ◇主任児童委員、民生児童委員、子ども未来課、SC、SSW、子ども相談センター等との連携